

様式3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価1-1】専任教員の配置状況

保健医療学部・作業療法学科	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
学部学科	4人	0人	2人	3人	9人	6人	8人	0人	29人	15人	
課程	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
計	4人	0人	2人	3人	9人	人	8人	0人	29人	—	

【自己評価1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☐	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている	3
☐	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である	2
☐	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正でない。	1

【自己評価1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☐	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
☐	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
☐	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
☐	上記以外である。	1

【自己評価1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価2-1】養成施設ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	担当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎	科学的思考の基礎	東洋医療の基礎・導入教育	15	東家 一雄・吉弘 奈央 林 直樹	教授・講師・助教（専任）
		科学の基礎	15	井本泰彦・山崎 尚	非常勤
		生命のしくみ	15	山崎 尚	非常勤
		生命の化学	15	岩崎 秀夫	非常勤
		統計学の基礎	15	戸村 多郎	准教授（兼任）
		物質と自然のしくみ	15	中村 正信	非常勤
		情報科学	15	入江 真行	非常勤
	人間と生活 社会の理解	生命倫理	15	王 財源・吉田 宗平 西 理宏・近藤 哲哉 木村 研一・文野 佳文 鍵弥 朋子・吉弘 奈央	教授（兼任）・教授（兼任） 教授（兼任）・教授（兼任） 准教授（兼任）・准教授（兼任） 講師（兼任）・講師（専任）
		日本国憲法（法の基礎知識）	15	池田 裕明	非常勤
		心理学	15	狩野 真理	講師（兼任）
		スポーツと健康	15	相澤 慎太	講師（兼任）
		生涯スポーツⅠ	15	相澤 慎太	講師（兼任）
		生涯スポーツⅡ	15	相澤 慎太	講師（兼任）
		社会学	15	木村 弘之	非常勤
		社会福祉論	15	駒井 博志	非常勤
		教育学	15	北山 敏和	非常勤
		英語表現法Ⅰ	15	吉田 仁志	教授（兼任）
		英語表現法Ⅱ	15	吉田 仁志	教授（兼任）

基礎	人間と生活 社会の理解	英語表現法Ⅲ	15	吉田 仁志	教授（兼任）
		英語表現法Ⅳ	15	吉田 仁志	教授（兼任）
		医療英語	15	伊藤 恵美	教授（専任）
		コミュニケーション学	15	狩野 真理	講師（兼任）
		手話	15	新実 千勢	非常勤
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構想Ⅰ	15	東家 一雄	教授（専任）
		人体の構造Ⅱ	15	東家 一雄	教授（専任）
		人体の構造演習	15	東家 一雄	教授（専任）
		人体の機能Ⅰ	15	大島 稔	教授（兼任）
		人体の機能Ⅱ	15	大島 稔	教授（兼任）
		人体の機能演習	15	大島 稔・榎葉 均	教授・教授（兼任）
		基礎運動学Ⅰ	15	吉田 直樹	教授（専任）
		基礎運動学Ⅱ	15	吉田 直樹	教授（専任）
		基礎運動学演習	15	備前 宏紀・吉弘 奈央 倉 昂輝	講師・講師 助教（全て専任）
		人間発達学	15	大歳 太郎	教授（専任）
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医学概論	15	武田 時昌	非常勤
		衛生・公衆衛生学Ⅰ	15	宮本 邦彦	非常勤
		衛生・公衆衛生学Ⅱ	15	松本 健治	非常勤
		病因・病態学Ⅰ	15	伊藤 俊治	教授（兼任）
		病因・病態学Ⅱ	15	伊藤 俊治	教授（兼任）
		臨床疾患学（内科）	15	河本 修	准教授（兼任）
		臨床疾患学（外科）	15	喜馬 通博	非常勤
		整形外科学	15	吉田隆紀・中谷裕也・ 井川勇成・中塚映政	教授（兼任）・非常勤 非常勤・非常勤
		神経内科学	15	若山 育郎・河本 修	非常勤・准教授（兼任）
		臨床心理学概論	15	狩野 真理	講師（兼任）
		精神医学	15	郭 哲次	教授（兼任）
		画像解析学概論	8	竹中 賢一	非常勤
		加齢医学	15	河本 純子	教授（兼任）
		皮膚科・感覚機能医学	15	若山 育郎	非常勤
		薬理学の基礎	8	深澤 洋滋	教授（兼任）
		障がいとスポーツ	15	吉田隆紀・中尾哲也	教授・准教授（全て兼任）
		免疫学	15	青野 由紀	非常勤
		栄養学の基礎	8	高田 かず	非常勤
		臨床生理学	8	文野 佳文	准教授（兼任）
		医療統計	15	山本 博司・井尻朋人	非常勤

専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	15	岩井 和子	非常勤
		保健医療福祉概論	15	岩井 和子	非常勤
専門	基礎作業療法学	作業療法学概論	15	伊藤 恵美・大歳 太郎 林 直樹	教授・教授・助教 (全て専任)
		作業療法理論	15	稲本 尊	助教(専任)
		基礎作業学	23	吉弘 奈央・倉 昂輝	講師・助教(全て専任)
		日常生活活動学概論	8	倉 昂輝	助教(専任)
		精神疾患とその障害	8	林 直樹	助教(専任)
		小児期の疾患とその障害	8	竹田 洋子	非常勤
		動作解析学	15	吉田 直樹・鈴木俊明	教授(専任)・教授(兼任)
		表現思考型学習	8	大歳 太郎	教授(専任)
		作業療法安全管理学	15	大歳 太郎・林 直樹・ 備前宏樹・吉弘奈央・稲本 尊	教授・助教・講師・講師 助教(全て専任)
		作業療法管理学	15	伊藤 恵美・大歳 太郎 稲本 尊・林 直樹	教授・教授・助教 ・助教(全て専任)
		作業療法総合ゼミ	15	大歳 太郎 他	教授(専任) 全専任教員
		作業科学概論	15	稲本 尊	助教(専任)
	作業療法評価学	作業療法評価学総論	15	吉弘 奈央・稲本 尊・ 倉 昂輝	講師・助教 助教(全て専任)
		身体障害作業療法評価学	15	備前 宏紀・稲本 尊	講師・助教(全て専任)
		精神障害作業療法評価学	15	林 直樹	助教(専任)
		発達障害作業療法評価学	15	大歳 太郎	教授(専任)
		老年期障害作業療法評価学	15	稲本 尊	助教(専任)
		日常生活活動作業療法評価学	15	吉弘 奈央・倉 昂輝	講師・助教(全て専任)
		高次脳機能障害作業療法評価学	15	伊藤 恵美	教授(専任)
		研究法入門	15	吉田 直樹	教授(専任)
	作業療法治療学	身体障害作業療法治療学	15	備前 宏紀	講師(専任)
		身体障害作業療法治療学演習	15	備前 宏紀・稲本 尊	講師・助教(全て専任)
		精神障害作業療法治療学	15	林 直樹	助教(専任)
		精神障害作業療法治療学演習	15	林 直樹	助教(専任)
		発達障害作業療法治療学	15	大歳 太郎	教授(専任)
		発達障害作業療法治療学演習	15	大歳 太郎	教授(専任)
		老年期障害作業療法治療学	15	稲本 尊	助教(専任)
		老年期障害作業療法治療学演習	15	稲本 尊	助教(専任)
		日常生活活動作業療法治療学	15	吉弘 奈央・吉田 直樹 倉 昂輝	講師・教授・ 助教(全て専任)
		日常生活活動作業療法治療学演習	15	吉弘 奈央・吉田 直樹 倉 昂輝	講師・教授・ 助教(全て専任)
		高次脳機能障害作業療法治療学	15	伊藤 恵美	教授(専任)
		高次脳機能障害作業療法治療学演習	15	伊藤 恵美・吉弘 奈央	教授・講師(全て専任)

専門	作業療法治療学	内部障害作業療法治療学	8	吉弘 奈央	講師（専任）
		義肢・装具学	8	備前 宏紀	講師（専任）
		リハビリテーション概論支援機器概論	8	吉田 直樹	教授（専任）
		就学・就労支援概論	8	大歳 太郎・巽 絵里	教授（専任）・非常勤
		エラビューティック・レクリエーション概論	8	備前 宏紀	講師（専任）
		国際リハビリテーション学総論	8	伊藤 恵美・谷埜 予士次	教授（専任）・教授（兼任）
		専門職連携概論	8	備前宏紀・稲本 尊	講師・助教（全て専任）
		芸術療法概論	8	林 直樹 岩井 和子・山崎 郁子	助教（専任） 非常勤・非常勤
		代替療法概論	8	伊藤 恵美	教授（専任）
		英文献講読	15	伊藤 恵美	教授（専任）
		東洋医学概論	8	中吉 隆之	講師（兼任）
		キャリアサポートとワークライフバランス論	8	大歳 太郎	教授（専任）
		カウンセリング技法	8	内田 小百合	非常勤
		認知行動療法	8	中井 靖	非常勤
		研究法応用	15	大歳 太郎 他	教授（専任） 全専任教員
	地域作業療法学	地域作業療法学総論	15	稲本 尊	助教（専任）
		地域作業療法学各論	15	稲本 尊・伊藤 恵美 林 直樹・倉 昂輝	助教・教授 助教・助教（全て専任）
		国際リハビリテーション学各論	30	伊藤 恵美・林 直樹	教授・助教（全て専任）
	臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学）	25	倉 昂輝	助教（専任）
		地域臨床実習	25	稲本 尊	助教（専任）
		臨床実習Ⅱ（プレ評価）	25	林 直樹 他	全専任教員
		地域臨床実習Ⅲ（評価）	100	吉弘 奈央 他	全専任教員
		臨床実習Ⅳ（総合）	200	備前 宏紀 他	全専任教員
		臨床実習Ⅴ（総合）	200	備前 宏紀 他	全専任教員
		臨床実習総合セミナー	8	吉弘 奈央 他	全専任教員

【自己評価2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☒	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
☐	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
☐	シラバスの記載が十分ではない。	2
☐	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☒	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
☐	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
☐	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
☐	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☒	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
☐	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
☐	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
☐	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床実習Ⅰ（見学） （作業療法実践場面の見学）	1年次後期	作業療法学概論	1年次前期
		リハビリテーション概論	1年次前期
		作業療法安全管理学	1年次後期
		基礎作業学	1年次後期
		保健医療福祉概論	1年次後期
地域臨床実習 （作業療法士による訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションの実践場面の見学）	2年次前期	リハビリテーション概論	1年次前期
		保健医療福祉概論	1年次後期
		地域作業療法学総論	3年次前期
		地域作業療法学各論	3年次後期
		専門職連携概論	3年次後期
臨床実習Ⅱ（プレ評価） 臨床実習Ⅲ（評価）	3年次後期	作業療法評価学総論	2年次前期
		身体障害作業療法評価学	2年次後期
		精神障害作業療法評価学	2年次後期
		発達障害作業療法評価学	2年次後期

(情報収集、面接、観察、検査/測定、問題点の列挙(統合と解釈)、目標設定までの評価過程の理解と実践)	3年次後期	老年期障害作業療法治療学	2年次後期
		高次脳機能障害作業療法治療学	2年次後期
		日常生活活動作業療法治療学	2年次後期
		動作解析学	2年次後期
臨床実習Ⅳ(総合) 臨床実習Ⅴ(総合) 臨床実習総合セミナー(OSCE) (評価過程の実践及び評価結果に基づく目標設定、治療プログラム立案、治療、効果判定の実践、及び他職種連携、実習施設の機能(役割)の理解と管理業務の体験を含む総合的な実習)	4年次前期	身体障害作業療法治療学	3年次前期
		精神障害作業療法治療学	3年次前期
		発達障害作業療法治療学	3年次前期
		老年期障害作業療法治療学	3年次前期
		高次脳機能障害作業療法治療学	3年次前期
		日常生活活動作業療法治療学	3年次前期
		内部障害作業療法治療学	3年次前期
		リハビリテーション支援機器学	3年次前期
		就学・就労支援学概論	3年次前期
		身体障害作業療法治療学演習	3年次後期
		精神障害作業療法治療学演習	3年次後期
		発達障害作業療法治療学演習	3年次後期
		老年期障害作業療法治療学演習	3年次後期
		高次脳機能障害作業療法治療学演習	3年次後期
		日常生活活動作業療法治療学演習	3年次後期
		義肢・装具学	3年次後期
		セラピューティック・レクリエーション概論	3年次後期
		専門職連携概論	3年次後期
		作業療法管理学	3年次後期

【自己評価3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☒	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
☐	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
☐	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☒	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
☐	適正な臨床実習指導者の下で実習がおおむね実施されている。	3
☐	適正な臨床実習指導者の下で実習が十分に実施されていない。	2
☐	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☒	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
☐	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分でない。	2
☐	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
☒	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
☐	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能していない。	2
☐	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	大歳太郎（吉田宗平）
組織の開催頻度	年間4回開催（令和5(2023)年度）
組織の取り組み内容	本学の教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育研究活動及び管理運営を自ら点検し、評価する。具体的には、各種委員会や学内各部署が推進する中期計画及びアクションプランの進捗状況に関する中間及び期末における点検・評価を実施している。 また、本学の専任教員は当該年度における自己の教育研究活動を「教育」「研究」「大学運営」「社会貢献」「診療」の5領域に分けて毎年度末に点検・評価し、その状況を「教員活動に係る自己評価調査票」に入力して次年度の改善につなげる取り組みを行っている。

自己点検・評価結果の公表	自己点検・評価活動の内容は、一定頻度で自己点検評価書を自主的に作成して大学ホームページで学内外に公表している。直近では令和5(2023)年度に当該年度の自己点検・評価活動を対象とする自己点検評価書を作成して公表した。また、各教員の研究業績に関しては、大学ホームページに掲載している「関西医療大学紀要」と同ホームページの教員紹介欄にて公表している。
--------------	--

【自己評価4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みがあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	教務委員会・教務調整会議
	委員構成等	学科全教員・学科長及び教務委員長
	改善の仕組みの実際	シラバス作成マニュアルを全教員に配布して記載内容について各教員が改善に努めている。更に次年度のシラバス内容を学科長と教務委員長が点検し、必要に応じて改善（修正）している。最終的に教務部長が点検した後、学長の承認を得る。

【自己評価4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

自己点検・評価委員会は、本学の教育研究活動及び管理運営を自ら点検・評価し、その結果に基づき次年度の教育研究活動を実施している。その内容は、日本高等教育機構及び一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による教育評価を受けている。令和3(2021)年度に一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による教育評価を受け、同機構のカリキュラム提供及び施設基準を満たしていることが認定された。この評価結果は大学ホームページにて公表している。また、第三者評価でいただいたご意見は、教務委員会で検討し改善に努めている。
